

超域芸術論特講Ⅰ

選択 2単位

1. 授業の概要(ねらい)

18世紀以降ヨーロッパの自信回復とともに確立するヨーロッパ中心の美学を適宜参照しながら、日本人の審美観に焦点をあてる。期中3回、個人発表をしてもらい、そのあとに質疑応答と解説、ディスカッションを予定しています。

2. 授業の到達目標

異文化間の芸術受容のあり方を検証し、芸術の超域性および異文化について理解を深める。異文化の理解ならびに表現の特徴を身につける。

3. 成績評価の方法および基準

平常点60%、個人発表40%。

4. 教科書・参考文献

参考文献

岡倉天心 茶の本

5. 準備学修の内容

個人発表の準備。発表時の質疑応答で明らかになった問題点を調べる。

6. その他履修上の注意事項

芸術に現れた、文化の違いに注意してほしい。

7. 授業内容

- | | |
|--------|--------|
| 【第1回】 | ガイダンス。 |
| 【第2回】 | 発表と討論。 |
| 【第3回】 | 発表と討論。 |
| 【第4回】 | 発表と討論。 |
| 【第5回】 | 発表と討論。 |
| 【第6回】 | 発表と討論。 |
| 【第7回】 | 発表と討論。 |
| 【第8回】 | 発表と討論。 |
| 【第9回】 | 発表と討論。 |
| 【第10回】 | 発表と討論。 |
| 【第11回】 | 発表と討論。 |
| 【第12回】 | 発表と討論。 |
| 【第13回】 | 発表と討論。 |
| 【第14回】 | 発表と討論。 |
| 【第15回】 | まとめ。 |